



# 2015年12月期 通期決算発表

2016年2月9日

日本マクドナルドホールディングス株式会社  
代表取締役社長兼最高経営責任者

**サラ L. カサノバ**

# ビジネスリカバリープラン

2015  
堅固な基盤づくり

2016  
転換・収益性回復

1. よりお客様にフォーカスしたアクション
2. 店舗投資の加速
3. 地域に特化したビジネスモデル
4. コストと資源効率の改善

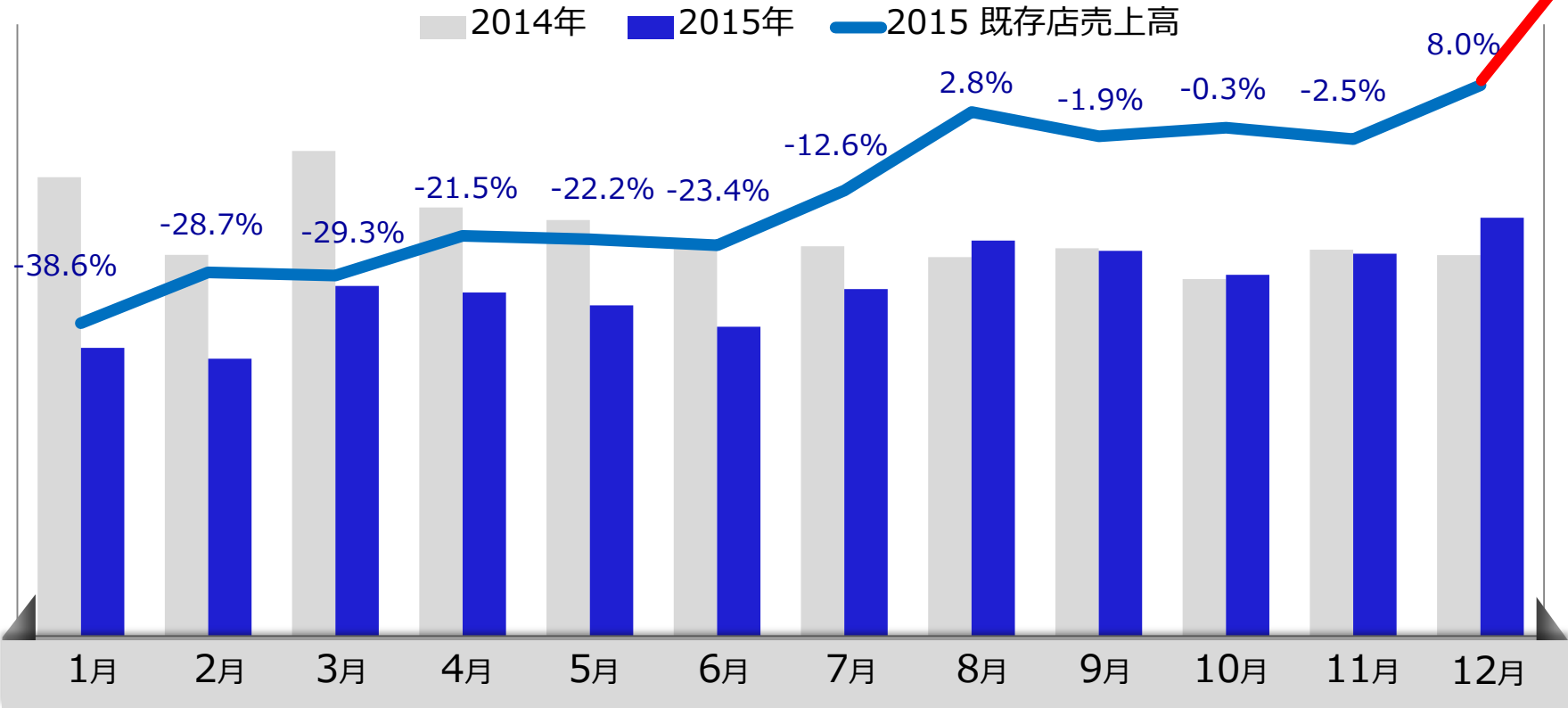
# 2015年 実績

2015  
堅固な基盤づくり

	上期	下期	実績	業績予想
全店売上高	1,720 億円	2,045億円	3,765億円	3,820億円
既存店売上高 対前年比	-27.5%	-1.2%	-15.2%	-13.5%
経常利益（損失）	-195億円	-81億円	-276億円	-310億円
当期純利益（損失）	-262億円	-85億円	-347億円	-380億円

# 店舗平均月商の改善状況

2016年1月  
35.0%



# よりお客様にフォーカスしたアクション：2015年

## 堅固な基盤づくり



Food Safety/Quality



2,000万DL



# よりお客様にフォーカスしたアクション：2016年

## Fun & Passion



McChoco  
Potato

北海道産  
ほくほくポテトと  
チェダーチーズに  
焦がし醤油風味の  
特製オニオン  
ソースが効いた  
ジューシービーフ  
**バーガー**  
(仮)  
¥390 SET ¥690



ちょっと長すぎるので新しい名前を募集します



# 店舗投資の加速 既存店改装



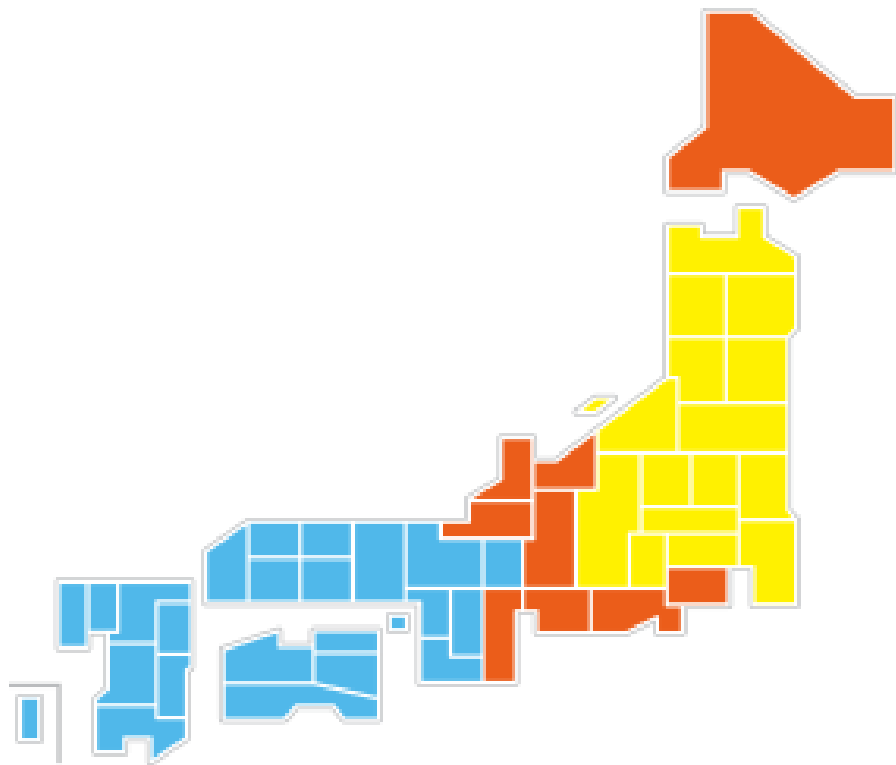
2015  
堅固な基盤づくり

**408**店舗  
の改装を実施

2016  
転換・収益性回復

**500 ~  
600**店舗  
の改装を予定

# 地域に特化したビジネスモデル





# 2016年 見通し

全店売上高  
既存店売上高 (%)  
経常利益  
当期純利益

4,250億円

17.6%

22億円

10億円

1. よりお客様にフォーカスした  
アクション

- ⌘ マクドナルドらしいメニュー
- ⌘ ブランドプロモーションの強化
- ⌘ お得感を打ち出したバリュープログラム
- ⌘ 最高の店舗体験の提供

2. 店舗投資の加速

- ⌘ 500~600店舗の改装

3. 地域に特化したビジネスモデル

- ⌘ 地域のお客様との繋がり構築

4. コストと資源効率の改善

- ⌘ リソースの最適化

*Modern  
Burger  
Restaurant*

THAT CONNECTS  
WITH CUSTOMERS



# 2015年12月期 通期決算発表

日本マクドナルド株式会社  
財務本部 上席部長

**増田 雄高**

# 2015年12月期 通期決算（対業績予想）

（百万円）

	通期		増減(対業績予想比)	
	業績予想	実績	増減額	%
全店売上高	382,000	376,552	-5,447	-1.4%
既存店売上高(%)	-13.5%	-15.2%		
売上高	200,000	189,473	-10,526	-5.3%
営業利益（損失）	-25,000	-25,233	-233	—
経常利益（損失）	-31,000	-27,691	3,308	—
当期純利益（損失）	-38,000	-34,704	3,295	—
一時的な費用および投資を除いた 当期純利益（損失）	-12,500	-11,904	596	

# 一時的な投資および費用

(億円)

	通期見込 4/16 公表値	通期実績		
		経常利益 に対する 影響額	特別損失	合計
店舗投資の加速	58	13	31	44
早期希望退職制度	8	0	6	6
フランチャイズ関連の財務施策	126	135	0	135
減損損失	49	0	35	35
マーケティング費用等の投資	14	7	1	8
合計	255	155	73	228

# 貸借対照表・キャッシュフロー計算書

## 貸借対照表

(単位：百万円)

	2015年	前期末比増減
流動資産	34,322	-14,182
有形・無形固定資産	80,989	3,334
投資その他の資産	63,362	1,473
合計	178,673	-9,374

	2015年	前期末比増減
流動負債	41,071	13,600
固定負債	28,516	15,679
純資産	109,086	-38,654
合計	178,673	-9,374

## キャッシュフロー計算書

	2014年	2015年
営業活動によるキャッシュフロー	-13,652	-14,787
投資活動によるキャッシュフロー	-12,310	-12,883
財務活動によるキャッシュフロー	-5,532	19,470
増減額	-31,511	-8,239

# 2016年度業績予想

---

# 2016年12月期 業績見込

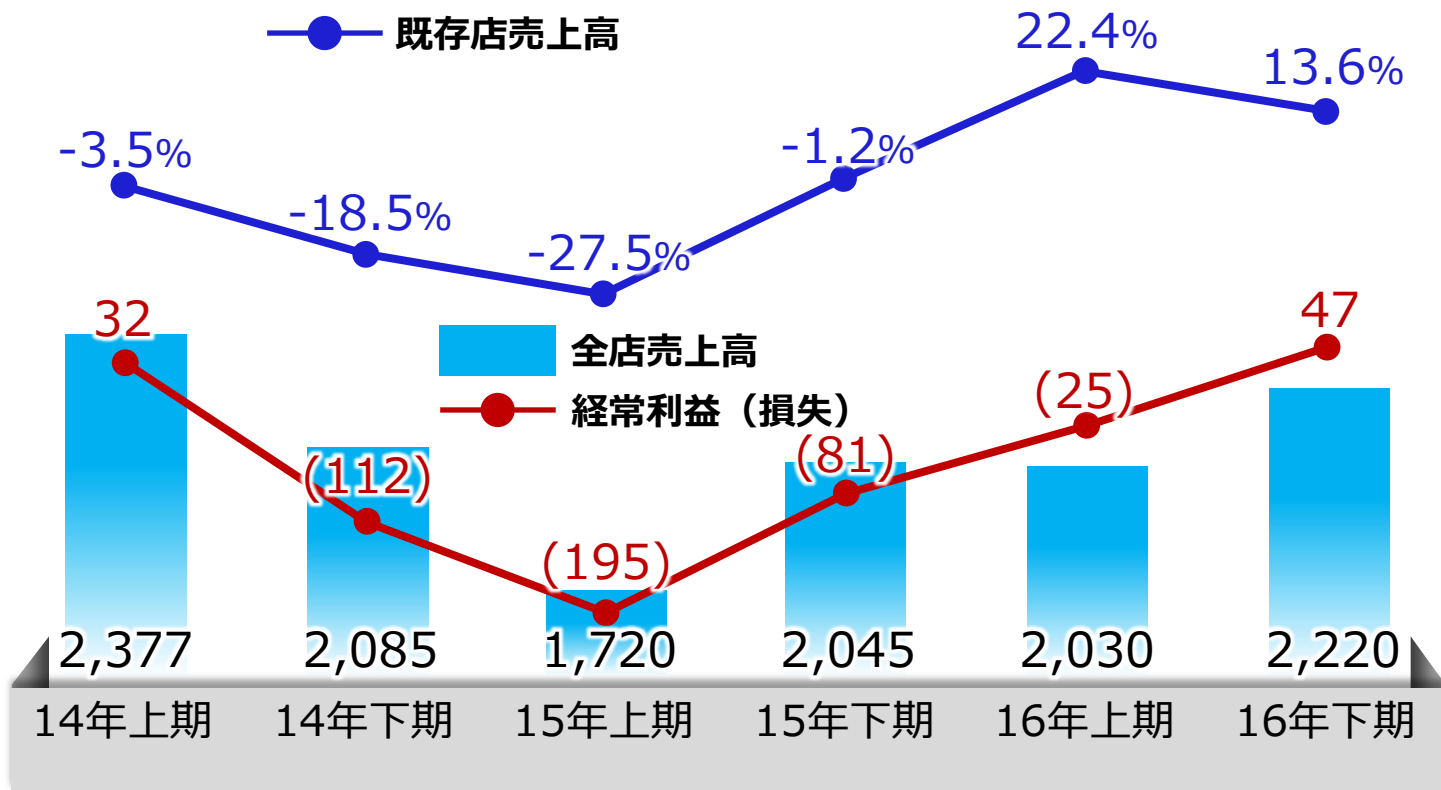
(百万円)

	半期見込		通期見込	
	上半期	下半期	通期	前年同期比
全店売上高	203,000	222,000	425,000	48,447
既存店売上高(%)	22.4%	13.6%	17.6%	
売上高	104,000	116,000	220,000	30,526
営業利益 (損失)	-1,800	5,100	3,300	28,533
経常利益 (損失)	-2,500	4,700	2,200	29,891
当期純利益 (損失)	-1,800	2,800	1,000	35,704



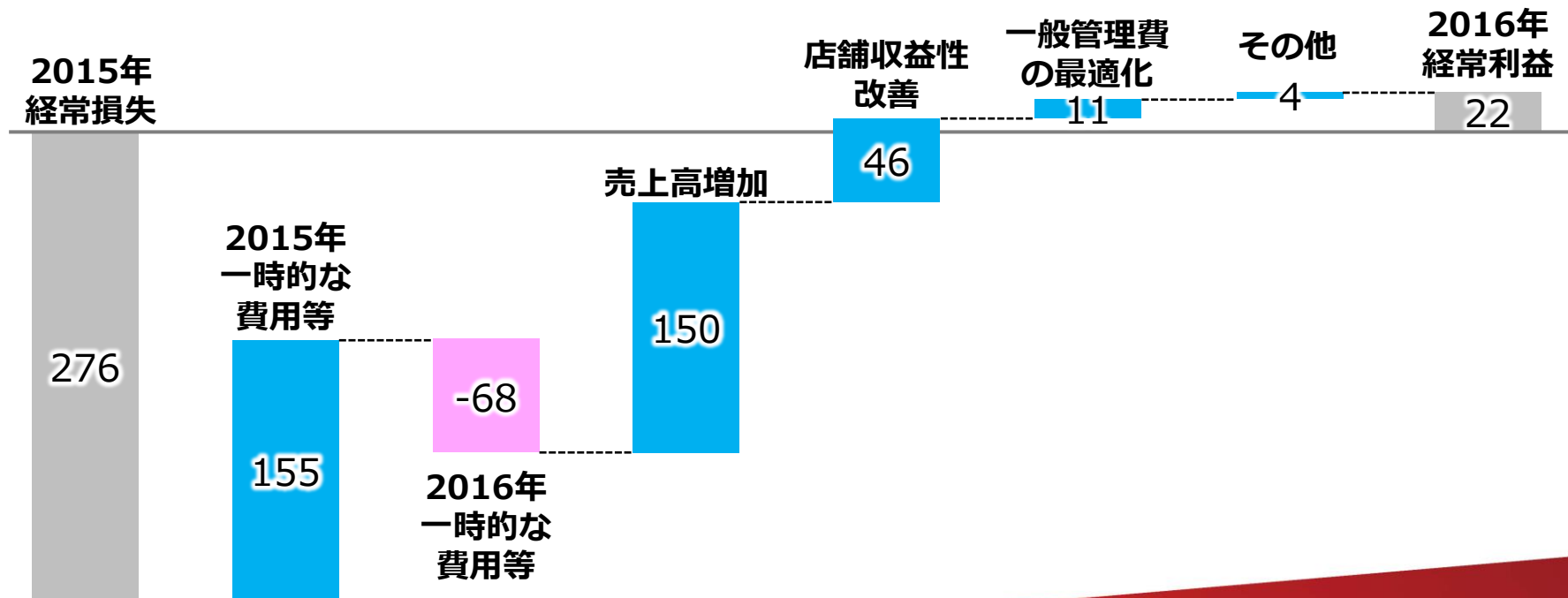
# 売上高 / 経常利益

(億円)



# 2016年度經常利益（対前期比）

(億円)



# 店舗開発 / 設備投資

(億円)

	2015		2016	
	店舗数	設備投資額	店舗数	設備投資額
新店	16	22	5 ~ 10	10
リモデル / 既存店投資	408	94	500 ~ 600	170
閉店				
通常閉店	52	-	30 ~ 60	-
戦略的閉店(※)	131		0	
ビジネスインフラ		47		10
<b>合計</b>		<b>163</b>		<b>190</b>

(※)2015年に計画した戦略的閉店はほぼ完了し、2016年の初期に終了します。

# 2016年12月期 業績見込

(百万円)

	半期見込		通期見込	
	上半期	下半期	通期	前年同期比
全店売上高	203,000	222,000	425,000	48,447
既存店売上高(%)	22.4%	13.6%	17.6%	
売上高	104,000	116,000	220,000	30,526
営業利益 (損失)	-1,800	5,100	3,300	28,533
経常利益 (損失)	-2,500	4,700	2,200	29,891
当期純利益 (損失)	-1,800	2,800	1,000	35,704



# 2015年12月期 通期決算発表

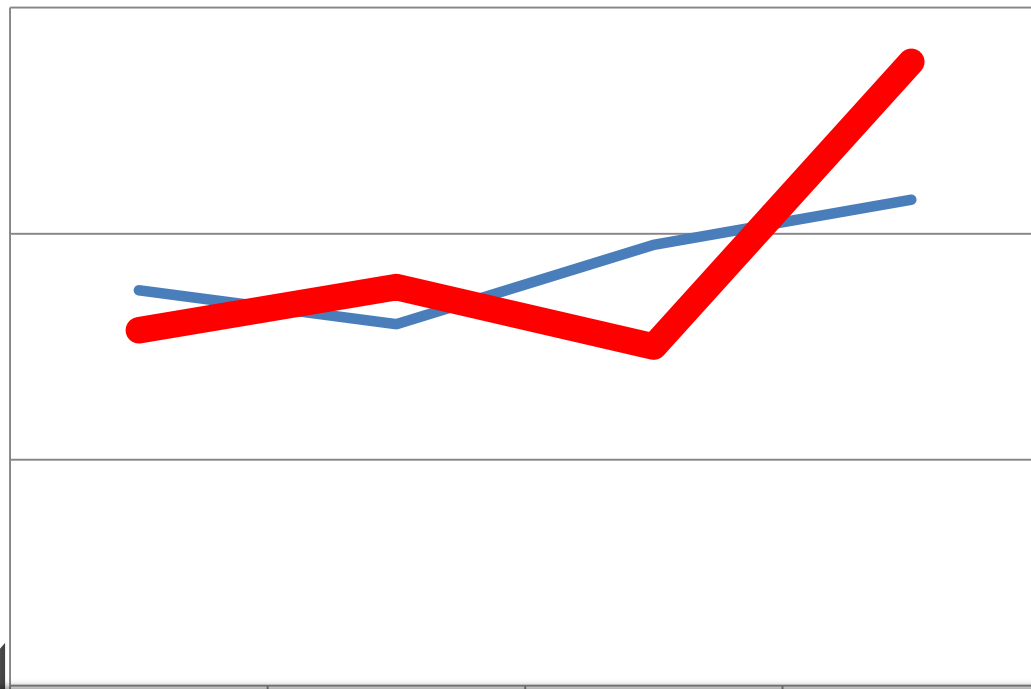
日本マクドナルドホールディングス株式会社  
代表取締役副社長兼COO

下平 篤雄

# よりお客様にフォーカスしたアクション

— 総合満足度

— 既存店売上前年対比



9月

10月

11月

12月

2015年

QSCの向上  
↓  
セールスの向上

# よりお客様にフォーカスしたアクション

- ◎おもてなしサービスの強化
- ◎店舗改善ツールの見直し
- ◎コンサルタントの強化
- ◎店舗人材への投資



**T**able



**T**oilet



**F**loor

# よりお客様にフォーカスしたアクション

- ◎ クルーオリエンテーションとトレーニングマテリアル
- ◎ 店舗マネージャーのトレーニングプログラム
- ◎ コンサルタントのスキル向上



クルー



店舗マネージャー



コンサルタント



# 店舗投資の加速

- ◎デュアルポイントサービスの導入
- ◎ドライブスルーの強化
- ◎日本人デザイナーによるグラフィックデザインの導入
- ◎Free Wi-Fiの導入
- ◎セルフオーダーキオスクのテスト導入



# 地域に特化したビジネスモデル

- ◎ 地域発の商品の拡大
- ◎ 店舗毎のイベントの開催
- ◎ FCオーナーによる行政との協力体制の確立



NGT48とのコラボレーション



マックアドベンチャー



岐阜県警とのコラボレーション

*Modern  
Burger  
Restaurant*

THAT CONNECTS  
WITH CUSTOMERS